

あなたを癒やす

医心伝身

第 639 回

ふーん、ナルホド

重症化すると死亡リスク高まる 「急性腎障害」(AKI)に注意

腎臓は体内の老廃物の排泄や体液量の調整だけではなく、ホルモンの産生も行なっている。急性腎障害(AKI)は様々な原因で急速に腎機能が悪化する病気だ。年齢を問わず、誰にでも発症する可能性があり、特に高齢者、糖尿病や高血圧など持病を持つ人は注意が必要だ。重症化すると腎不全で透析が必要となり、死亡リスクも上昇することがある。



前川 洋 東京大学医学部附属病院血液浄化療法部医師

心不全などで腎臓に入ってくる血流量が低下して起こる。高齢者は夏場の脱水でAKIを発症することも多い。腎性は腎炎や敗血症、大手術、一部の抗がん剤などで腎臓そのものが障害されて発症。そして、手術後の患者や感染から敗血症を起こした場合に発症リスクが高まる腎後性は尿の通り道(尿路)が閉塞することによって起こる。前立腺肥大症や神経因性膀胱、骨盤内の様々な腫瘍が原因で尿路が閉塞され発症する。

8倍に、透析が必要となる確率は3倍以上になり、死亡率も上昇すると報告されています。ガイドラインではAKIを発症した場合、3か月以内に医療機関を受診し、CKDに移行していないか、合併症を起こしていないかを検査する必要があります(前川医師)
今現在、AKIに明確な効果がある薬剤による治療法は存在しないので、まずは予防が大切だ。

(取材・構成/岩城レイ子)
(治療については次号にて)

腎臓は左右2つ、脇腹と背骨の間あたりに存在し、ソラマメのような形をしている。腎臓の働きは大きく分けて2つ。1つは老廃物の排泄や体液の量を一定に保つなど体の内部環境のバランスを維持す



イラスト/いかわやすし

「腎臓は複数種の細胞を含む複雑な構造を持つ臓器です。腎臓の構造の中心を成すのが左右の腎臓それぞれに約100万個あるネフロンです。1つのネフロンの中には毛細血

管の塊である糸球体があり、体内の25%もの血液が流入し、ろ過されて原尿が作られます。原尿は尿細管を通じて必要な成分が再吸収され、不要な成分は最終的に尿となり排出されます。こうした一連の流れが何らかの原因で障害されることでAKIが起こります」
AKIは、その原因が影響する部位により腎前性、腎性、腎後性の3つに大別される。腎前性は脱水や一部の薬剤、

原因が多岐にわたるため、特異的な症状がないというのもAKIの特徴だ。例えば脱水や血圧低下が原因の場合、ふらつきや口が乾くなどの症状を認められるが、むくみはない。一方、心不全にAKIを合併していると、むくみや呼吸苦があり、敗血症であれば発熱などの症状を伴う。
「AKIは治療後に元の水準まで腎機能が戻る場合と腎機能障害が残ってしまう場合、さらに戻ることなく定期的な透析が必要となる場合があります。AKIになると慢性腎臓病(CKD)になる危険性は罹患しない人に比べて8・

急性腎障害の組織図

